
「当院での大腸癌手術における腹腔鏡下手術と開腹手術の比較検討」

に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの診療録を用いた以下の研究を実施いたします。本研究は、【埼玉医科大学国際医療センター臨床研究 IRB】の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2007年4月1日～2022年3月31日の期間に埼玉医科大学国際医療センターを受診し、大腸癌におけるロボット支援下手術と腹腔鏡下手術を実施した患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

大腸癌手術における腹腔鏡下手術と開腹手術の比較

3. 研究期間

病院長の許可後～2027年3月31日

4. 利用または提供の開始予定日

研究実施許可後から、約1か月程度。

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

当院にて腹腔鏡下大腸癌手術、開腹大腸癌手術を施行した症例を対象とする。手術時間、出血量、郭清リンパ節個数、術後合併症率、術後在院日数、病理学的診断結果などについて後方視的に検討する。また性別、年齢、BMI、ASA、既往歴、併存疾患、開腹歴等の患者背景因子についても検討する。全生存期間、無再発生存期間、再発率や再発形式などの長期予後についても検討する。

この研究で得られた患者さんの情報は、【埼玉医科大学国際医療センター】において、研究責任者である研究責任者である芥田 壮平が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

大腸癌と診断された患者さんの診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

研究実施者

埼玉医科大学国際医療センター

消化器外科（助教） 芥田 壮平

消化器外科（教授） 平能 康充

消化器外科（准教授）平沼 知加志

消化器外科（准教授）出口 勝也

消化器外科（准教授）石山 泰寛

消化器外科（助教） 岡崎 直人

消化器外科（助教） 藤井 能嗣

消化器外科（助教/臨床フェロー） 田中 裕人

消化器外科（助教） 大和 美寿々

消化器外科（助教） 吉澤 政俊

4. 試料・情報の管理責任者

研究責任者 埼玉医科大学国際医療センター

消化器外科（助教） 芥田 壮平

5. 試料・情報の提供方法等について

当院単独の研究かつ検査・解析等もすべて自機関で行う研究ため、他施設には提供しません。

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学国際医療センター

消化器外科（助教） 芥田 壮平

住 所：〒350-1298 埼玉県日高市山根 1397-1

電話番号：042-984-4111

（土日祝日を除く 8：30～17：30）